

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	04065-1	下水路整備費(下水路費)	室名	上下水道局下水道室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	07:上下水道の整備	務	款 衛生費
施策の方向	02:生活排水対策の推進	科	項 下水路費	
戦略プロジェクト		目	目 下水路費	

②目的・概要	対象	都市計画区域外の市民
	目的	都市計画区域外の水路で、老朽化の進行した箇所や、排水不良を起こしている箇所の整備改修を実施し、住環境の改善を図る。
概要	地元要望のあった、老朽化した水路の整備を行う。	

			27年度	28年度
①	名称	両尾地区排水路整備工事(地元要望)	計画値	
	補足		実績値	0
			単位	
②	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績			
事業費				実績なし			
	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	
		500	0		一般職員人件費 ②	758	平均給与額×③
	国庫支出金				所要人員 ③	0.10	
	県支出金				臨時職員人件費 ④		
	地方債				⑤		
	その他				受益者負担額		
	一般財源	500	0		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
再掲	翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額						
	総人件費		①	758			
	総コスト		⑥	758			

⑤事業の評価	【事業の成果】	詳細な現地確認の結果、想定より水路の老朽化が進んでいないことから、地元住民の同意も得、改築計画から破損部分の補修に変更したため予定していた改修工事は実施しなかった。 (補修により、改修工事と同等の成果を得た)	総合判定
			<b>B</b>
			まずまず進んだ
	【反省点・課題】	予算見積時に精度の高い計画を立案する必要がある。	
	【改善の方向性】	予算見積時に詳細な調査を実施し、計画を立案する。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 下水道室長 松永 政司